

## 平成30年度公共下水道事業特別会計当初予算額

(単位:千円)

歳 入	予 算 額	歳 出	予 算 額
1 分担金及び負担金	10,200	1 公共下水道事業費	106,772
2 使用料及び手数料	88,467	2 公 債 費	90,372
5 財 産 収 入	62	3 積 立 金	62
6 繰 入 金	80,318	4 繰 出 金	618
7 繰 越 金	618	5 予 備 費	576
8 諸 収 入	235		
9 町 債	18,500		
歳 入 合 計	198,400	歳 出 合 計	198,400

## 平成30年度坂祝町公共下水道事業特別会計 予算の概要

平成30年度坂祝町公共下水道事業特別会計における総額は、歳入歳出それぞれ198,400千円（前年比8.4%の増で15,400千円増）となります。

平成30年度の主な事業として、施設費においては、前年度に引き続き公営企業会計移行への委託を実施します。なお、公営企業会計移行への委託においては年次計画に準じ、全体的に増額となります。また、維持管理費においても、主に新規事業である経営戦略・ストックマネジメント策定業務に伴う委託料の増額、新築に伴う公共柵取出し・取付工事の増額となっております。

予算執行の財源として歳入の主なものは、一般財源である【分担金及び負担金】10,200千円（受益者負担金）、【使用料及び手数料】88,467千円（使用料・滞納繰越等・督促手数料）、【繰越金】618千円（前年度の繰越金）、【諸収入】235千円（延滞金、預金利子、雑入（排水設備工事指定店手数料）と、特定財源として【財産収入】62千円（基金利子）、【繰入金】80,318千円（一般会計繰入金・減債基金繰入金）、【町債】18,500千円（建設負担金分・一般分・公営企業適用債）を見込みました。

これらを財源とする歳出予算として、主に**施設費**では【人件費】8,707千円（給料・職員手当・共済費）、【工事請負費】4,500千円（工事費：単独分L=100m）、【負担金補助及び交付金】6,157千円（各団体負担金・木曽川右岸流域下水道事業建設負担金）、【委託料】8,414千円（公営企業化移行業務委託）、など27,810千円（前年比35.7%増で7,310千円増）を計上しました。

**維持管理費**では、【需用費】3,839千円（消耗品・水熱光費・修繕費）、【役務費】968千円（郵便料・電話料・保険料）、【委託料】9,765千円（保守点検・水質検査・マンホールポンプ清掃・上水道各種委託料、経営戦略・ストックマネジメント策定業務）、【工事請負費】10,400千円（公共柵新設取出工事・公共柵取付工事）、【負担金補助及び交付金】47,255千円（木曽川右岸流域下水道事業維持管理負担金）、【公課費】6,720千円（消費税）など78,962千円（前年比10.7%増で7,633千円増）を計上し、その他、**公債費**として【元金】70,778千円（償還元金）、【利子】19,594円（償還金利子）を併せ90,372千円（前年比0.4%増で367千円増）、**積立金**62千円、**繰出金**618千円（一般会計繰出金）、**予備費**576千円を見込みました。

以上が、平成30年度坂祝町公共下水道事業特別会計の概要です。